

町の木…カエデ 町の花…サツキ

三月の「町家のひなめぐり」の時、観光客の方に「どこもお花がいっぱいきれいな町ですね。」と言われましたが、その中のお一人に「椿を植えてあるお家が多く種類も多いですが、この町は椿に縁があるのですか？」と尋ねられました。「え、特に椿に縁があるわけではないと思いますが…町の花も違うと思いますし。」と言ったものあまり自信もなく、改めて調べたところ町の花は『サツキ』でした。昭和56年に制定されたそうですが、その経緯をご存知の方がいらしたら教えて頂きたいと思います。

ところで町に縁と言えば、サツキもツツジ科ということで高取町出身の俳人・阿波野青畝氏の句に

満山のつぼみのままの躑躅かな(昭和21年)

〔夢創館通信19号で紹介。砂防公園に句碑あり。〕

また、『高取町史』の「なつかしかな、わが古里」には、『私をはじめて会心の作と思つた句』として

塔見えて躑躅燃えたつ山路かな(大正6年)

これは、上子島の家から山の背をつたって壺阪の五百羅漢におりたときにできたそうです。

《じぶんのはいている草鞋の下に羅漢の頭が見えて罰があたりそうな気がした。尋常一年の遠足に出て、ここで弁当をつかい、白いおにぎりをあやまって谷へころがし、ベそをかいたことがあった。》とあります。

『高取町史』もなかなかおもしろいですよ。

高取・壺阪フォトコンテスト受賞作品決まる！

昨年5月から今年の3月まで募集していたコンテストに343点の応募があり、この5月20日に読売新聞誌上(ネット)にて受賞発表がありました。受賞作品は7月以降に富士フォトギャラリー、壺阪寺やりベルテホールなどで展示予定です。



サツキ



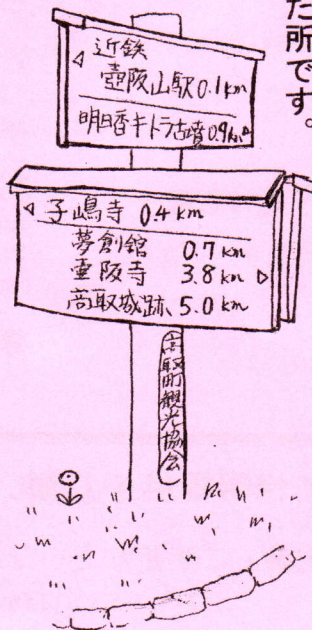
カエデ

お知らせ

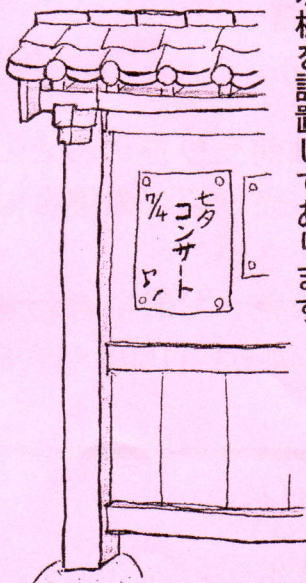
高取町に観光で訪れる方は、年々増えつつありますが、それにつれて道案内の道標の整備が大切になってきています。

今年の二月に、観覚寺・転車辻(沢自転車店前)交差点脇の芝生の中に道標を立てました。

ここは、壺阪山駅から高取城跡の行き返りに行き過ぎて迷われる方がいて、前から要望があった所です。



また、夢創館ポケットパーク入り口には、夢創館メイト会のご協力をいただき、観光案内掲示板を設置してあります。



なお近鉄壺阪山駅前に、観光案内マップの看板を設置予定です。